

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; 前十字靭帯再再建術後成績の検討ーハムストリングを用いた二重束再建と BTB（骨付き膝蓋腱）を用いた一重束再建の比較ー</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 整形外科（研究責任者）森本祐介</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日      ～      西暦    2021 年 12 月 31 日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; 膝の靭帯である前十字靭帯(ACL)は損傷されると膝関節の不安定性をまねき、放置すれば関節の変形が発生し日常生活に支障をきたします。よってACL損傷膝には靭帯を作り直す靭帯再建術が行われます。ほとんどの場合満足のいく結果になりますがごく一部の方は再断裂をきたします。再断裂例に対しても変形を防ぐ観点から靭帯の再再建術が行われますがどの方法で再建術を行うのが最善か結論が出ていません。 我々の施設で行った異なる方法の再再建術を比べることで最善の方法が分かれば今後の治療に有用な情報となります。</p>
<p>&lt;利用する試料・情報の項目&gt; カルテに記載されている診療内容(手術記録、筋力測定、画像検査)。</p>
<p>&lt;対象となる患者さん&gt; 西暦 2009 年 12 月 1 日～西暦 2019 年 5 月 31 日の期間に日本大学医学部整形外科で膝前十字靭帯再再建術の治療を開始された方。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; カルテの記載を見て手術方法の違いによる術後の膝のゆるみや筋力測定結果、アンケートによる評価の違いを調査する。</p>
<p>&lt;お問い合わせ窓口&gt; 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 整形外科                      氏名:森本祐介 電話:03-3972-8111    内線:(PHS)8232</p>